

TIDAL を楽しむ(13) —micro iDSD の TIDAL 再生の設定(1)—

1. 始めに

前報(11)では、micro iDSD BL のファームウェアの更新の結果を報告していますが、ファームウェアの更新を見送りにしていました、もう一つの micro iDSD のファームウェアの更新について検討します。

2. TIDAL の設定

micro iDSD BL のファームウェアの v.5.3 への更新の場合は、前報(4)、前報(5)および前報(8)のような経過を辿っており、前報(11)のとおり、最終的にはディーラーに送って、実施と確認を依頼しました。

今回、micro iDSD は、ファームウェアの v.5.3c への更新を検討することとし、micro iDSD BL のファームウェアの更新と同様のトラブルを避けるため、より詳細な手順のマニュアルをディーラーに要求して入手しましたので、この手順に沿って実施しました。なお、v.5.3 と v.5.3c の違いに関する質問へのディーラーからの回答の要旨は、次のとおりです。

「ファームウェアの 5.3 と 5.3C の違いは以下のページに記載の通りであります。

<http://ifi-audio.jp/firmwarenew.html>

※再生時の LED の表示色も違います。一覧表をご参照ください。

両者の大きな違いは iFi audio 独自の GTO フィルターがあるかないかとなります。
これは MQA をのぞく全ての PCM 信号を 8 倍オーバーサンプリング
(352.8kHz/384kHz)を行って再生します。」

今回は、micro iDSD については v.5.3c への更新を採り、入手した手順に従って実施します。

最初に、手順にしたがってファームウェアの Version を確認しますと、v.4.04 となっています。入手した手順は、いくつかのケースが入り混じって記載されており、分かりにくいのですが、何とか更新ができ、ファームウェアの Version を確認しますと、v.5.3c となっていました。

3. TIDAL 再生の試聴

TIDAL からの音源は、前報(3)、前報(6)、前報(7)、前報(9)、前報(10)などの Master Quality 音源から適宜選択しました。

再生時の LED の表示色はオーディオ資料室収載の [iFI 製品 Lamp Color 資料](#) のとお

り MQA 音源再生時は黄色になります。



MQA 音源再生時の音質は、すっきりとした音ですが、Brooklyn DAC+でのこくのある音には及びません。

なお、GTO フィルターについては下記の説明が上記のサイトにあります。GTO フィルターが音質に寄与しているかどうかが定かではありません。

「GTO (ギブズ・トランジメント・オプティマイズド) フィルターとともに MQA フィルターエンジンを使用する際は、PCM オーディオはすべて 8 倍のレートでオーバーサンプリングされます。したがって、特定のユニットが 8 倍のレートを実現するために何を搭載しているか、サンプリング・レート指示は常に 8 倍になります。GTO は「すべての」 PCM フィルターに優先します。この点で、GTO フィルターはそれまでに選択したあらゆるフィルター(オーバーサンプリングなしのビットパーフェクト PCM も含む) よりも優れていると感じています。」

4. まとめ

micro iDSD のファームウェアの v.5.3c への更新ができ、micro iDSD での TIDAL の MQA 音源の再生が可能となりました。

以上